令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４００３

『花火やミニかまくらを通じて，　日大生と校友の心にも「明かり灯し」たい』

プロジェクトの概要

秋田県横手市で 450 年の歴史を有する伝統的な小正月行事として，かまくら祭りがあり ます。この一環として近くを流れる川沿いにミニかまくらを 2,000～3,000 個作成し，点灯 する活動を行っている市民団体「灯り点し隊」がありますが，地方の若者不足から活動に 支障を来しているのが現状です。この祭りに大学生と校友が一緒に参加することで，ＳＤ Ｇｓの掲げる「持続可能な都市」を目指し，地域活性化に貢献します。

プロジェクトの結果・成果

初めに秋田県桜工会総会にて昨年の秋田県人会の成果についてのプレゼンテーションを行いました。

次に２０２５年２月１４日から始まるかまくら祭りに向けて、１月よりミニかまくらに灯す為のキャンドル作製を開始致しました。学校の学食職員にご協力していただき廃油をもらい、凝固剤を用いてキャンドル作製に挑みました。かまくら祭りに参加するメンバーと共に作ることで、本番前からも団結力を実感することが出来た。

かまくら祭り本番前、昨年度はかまくらを作るには天気が悪く絶望的に雪がなく困ったことを覚えておりプロジェクトを進めるにあたって不安な気持ちがありましたが今年の横手市は２月に入ってから積雪が１００cm 以上もあり、かまくらを作るに十分な雪があることを知り、安心しながら皆で秋田へ向かうことが出来た。本番当日、工学部生１１人が参加し、地元に就職した方や OB の方にも参加していただき、学部内での交流に加えて、校友との交流も深めることが出来、校友とともに地域活性化に貢献することが出来た。

また、横手青年会議所の方からお誘いを受け、ぼんでん祭りにも参加致しました。地域の伝統文化に触れる貴重な機会となり、地元の方々とも交流を深めることが出来た。

活動写真





